

ゲノム情報に基づく創薬に関する共同研究について

理化学研究所（小林俊一理事長）は、ゲノム情報に基づく創薬開発の共同研究に参画する企業を公募しました。このたび、応募のあった製薬企業などのうち14社と共同研究契約を締結しました。理化学研究所は、これらの企業から提案された創薬ターゲット候補の情報に基づき、タンパク質の立体構造解析と医薬品候補物質の探索研究を共同で行います。当研究所と製薬企業などとの連携が強化されることにより、今後、効率的かつ効果的な創薬開発が期待されます。

1. 共同研究の趣旨

理研では、横浜研究所のNMR（核磁気共鳴）装置と播磨研究所の大型放射光施設SPring-8、さらにマウス完全長cDNAクローンなどを活用して、タンパク質の立体構造を解析し、それらのデータベースを開発するプロジェクトを関係研究グループ、研究室の協力体制の下で進めています。

得られる研究成果を迅速に技術移転することの重要性から、構造解析の対象とするタンパク質の選定にあたり、製薬企業などから創薬ターゲット候補タンパク質（DNAクローン）の情報提供を受けました。これらの情報に基づき、当研究所は構造解析を行い、個々の企業と共同で画期的新薬につながる医薬品候補物質の探索研究を実施していきます。

これらの成果は、国が進める予定のタンパク質基本構造機能解析に資するものであります。

2. 共同研究参画企業

共同研究の説明会を東京（3月30日）と大阪（4月20日）で行い、参画を希望する企業を募集（募集期間：4月16日～5月31日）しました。応募のあった企業とは、秘密保持契約を締結し、各企業から、共同研究の対象とするDNAクローンの情報等の提供を受け、理研に設置した選考委員会が解析対象とするDNAクローン（タンパク質）を選定し、応募要件を満たした各企業との契約交渉を経て、共同研究実施の合意に達しました。

共同研究契約を締結した14の企業は、以下の通りです（五十音順）。

旭化成株式会社（山本 一元社長）
エーザイ株式会社（内藤 晴夫社長）
塩野義製薬株式会社（塩野 元三社長）

住友製薬株式会社（横塚 実亮社長）
大日本製薬株式会社（宮武 健次郎社長）

味の素株式会社（江頭 邦雄社長）
科研製薬株式会社（乾 四朗社長）
住友化学工業株式会社（米倉 弘昌社長）
第一製薬株式会社（森田 清社長）
株式会社ダナフォーム（林 利蔵社長）

田辺製薬株式会社（田中 登志於社長） 東レ株式会社（平井 克彦社長）
株式会社ファルマデザイン（古谷 利夫社長） 明治製菓株式会社（北里 一郎社長）

3. 共同研究の概要

共同研究の概要は以下の通りです。

- 1) 理研は、企業から提案のあった DNA クローンに由来するタンパク質の立体構造解析及び機能解析等を行い、得られた情報を企業に提供します。
- 2) 企業は、理研の提供する構造情報等を利用して HTS（High-throughput screening）等を実施し、解析対象タンパク質と相互作用する医薬品候補物質の探索研究を行います。
- 3) 特定のタンパク質については、原則、1社と共同研究を行います。
- 4) 共同研究にかかる費用は、原則、各々の負担とします。
- 5) 共同研究の成果は、知的財産権確保について適切な対応をしたうえで公表します。
- 6) 得られた知的財産権は、原則、当研究所と企業との共有とします。

（問い合わせ先）

独立行政法人理化学研究所
研究業務部

前川 治彦

Tel : 048-467-9762 / Fax : 048-462-4609

（報道担当）

独立行政法人理化学研究所 広報室

嶋田 庸嗣

Tel : 048-467-9272 / Fax : 048-462-4715